

2020.6

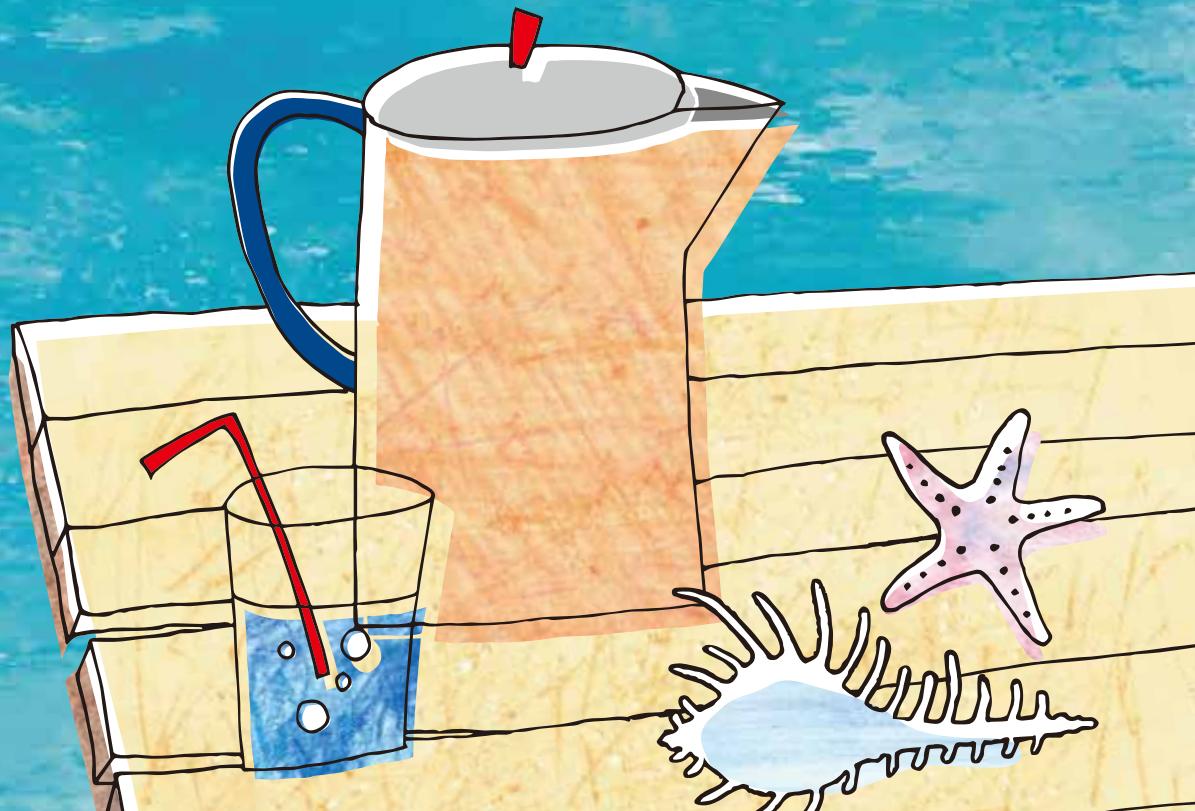
# MOVING

ムービング



## CONTENTS

特別寄稿	2
北京会議から25年 特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会 理事長 有馬 真喜子さん	
講座報告・お知らせ	3
特集	4
中高年のあなたに ~必要とされているあなたの力~	
ムーブ実施事業	6
年間スケジュール	
お知らせ	8
Cutting-Edge	10



## 特別寄稿

### 北京会議から25年

北京会議、第4回世界女性会議を一言で言えば、世界の女性たちの熱気と連帯の会議だった、と言えるでしょうか。何しろ世界中から3万1000人を超える女性たちが集まり、それぞれの思いと課題を語り、手を繋いで、自分たちの未来は自分たちの手でつくろうとの決意を語りあつたのですから。日本からも約5000人が参加しました。NGOで活躍していた人達はもちろん、都道府県や市町村も、こぞって女性たちを送り出しました。

北京会議は、1995年9月4日から15日まで、北京市で国連の主催で行われ、190か国と地域、そしてNGO約2000団体が参加し「北京宣言」と「行動綱領」を採択しました。議長は中国の陳慕華さん、事務局長はタンザニアのガートルード・モンゲラさん、NGOフォーラムの事務局長はフィリピンのアイリーン・サンチャゴさんでした。日本の首席代表は野坂浩賢官房長官、当時国連日本代表部公使だった現アジア女性交流・研究フォーラム理事長の堀内光子さんは、代表代理として活躍されました。当時の女性国會議員20人が、党派を超えて参加されたことも特筆される出来事だったと思います。

北京会議は二つの意味で、空前絶後ともいえる特筆されるべき会議だったと私は思っています。一つは言うまでもなく、「平等・開発・平和」を旗印とし、1975年のメキシコでの第1回世界女性会議から、コペンハーゲン、ナイロビと積み上げてきた第4回世界「女性」会議であったことですが、もう一つ、1992年の「環境」、93年の「人権」、94年の「人口」と重ねてきた国連世界会議の集大成の会議だったことも忘れてはならないと思うのです。1989年ベルリンの壁が崩壊して、国連は本来の役割である、国の枠を超えて話し合うことが必要なグローバル・イシューに関わることができるようになり、環境や人権等への取り組みが始まったのです。北京会議が、こうした流れの集大成であることは、北京会議「行動綱領」の12の「重大問題領域」に色濃く反映されていると私は思っています。重大問題領域の最初の「女性への持続し増大する貧困の重荷」、つまり「貧困」の問題に始まり、以下、教育、健康、社会保障、暴力、紛争、資源へのアクセスなどと連なる

特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会  
ありま まきこ  
理事長 有馬 真喜子さん  
第4回国連世界女性会議 日本政府代表顧問  
プロフィール――  
朝日新聞社記者、フジテレビ ニュースキャスターなどを経て、現在、津田塾大学理事、国民生活センター特別顧問など。国連婦人の地位委員会や世界人権会議の日本代表、国民生活審議会委員など国内外の公職を多数歴任。

領域は、女性差別の問題であるとともに、世界の格差の姿を映しだす問題提起であり、それが、25年前の「行動綱領」が、今なお色あせず、今日的意義を保ち続けている所以の一つではないかと思うのです。

女性問題に戻れば、皆さま、よくご存知のように、北京前・北京後、と言っていいほどに、各国で女性の課題への取り組みは加速しました。世界的に見てもっとも進んだのは教育の分野だと言われていますが、日本でも男女共同参画局が誕生し、各地に女性センターがつくられ、女性に対する暴力防止法や改正男女雇用機会均等法が成立した等、法律や制度上の整備はかなり進みました。まだまだ課題はたくさんありますが、北京会議が推し進めたものがたくさんあることも事実です。

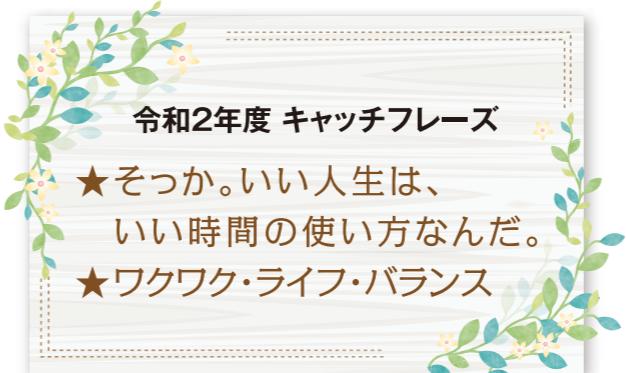
私は、メキシコ以来3回の世界女性会議を取材し、その後、国連女性の地位委員会日本代表を12年間務め、北京会議には政府代表団の一員として参加しました。北京会議に先立つ3年間は、361項目に上る「行動綱領」づくりに関わり、連日深夜までの公式、非公式の話し合いに明け暮れました。もっとも議論の多かつたテーマが“性と生殖に関する権利、健康”であることはご承知のとおりです。「行動綱領」は全会一致で採択されましたが、28か国が特定の項目を留保したり、解釈表明をしたりしています。その内容は、中絶や性的指向の問題、“家族”的な内容、“ジェンダー”という言葉の解釈など、今日に至る問題がほとんどです。

国連で女性の課題を扱うUN Women(国連女性機関)は、北京から25年の今年を記念の年とすることを決定し、そのテーマを「平等を目指す全ての世代」としました。3月、メキシコに始まり…いくつかのイベントも計画されました。しかし、コロナ・ウイルスの感染拡大で、すべては立ち消えです。国際連帯より自国が大事という傾向は、コロナ感染拡大により一層顕著になっています。

北京から25年の今年“世界の女性たちが手を携えて”という25年前の熱気と連帯の思いをもう一度、と、心から願わずにはいられません。

## 男女共同参画週間

6月23日(火)～29日(月)



- ★そつか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。
- ★ワクワク・ライフ・バランス

### パネル展示

■6月2日(火)～30日(火)

ムープ1階 交流広場

「ワリカン!?～ワリとかんたん!?男と女のいい関係。～」

### 女性への人権侵害相談ホットライン

弁護士、ムープ相談員が、DV・セクハラなど女性への人権侵害に関するさまざまな相談を電話で受け付けます。

■6月24日(水) 10:00～17:00

【対象】女性への人権侵害に関する相談であればどなたでも

093-583-3331  
093-583-3663



### 対人援助職者セミナー

## 対人援助職者として、健康でいきいきと働くために

令和2年2月22日(土) ムープ5階 大セミナールーム

【講師】公認心理師・臨床心理士・キャリアコンサルタント 新開 よしこさん

今回はワーク・エンゲージメント(仕事にやりがいを感じ、熱心で活動的にいきいきと取り組んでいる状態)を高める方策を講話されました。

講話後、参加者を5～6名のグループに分け、ツールである直径1mのダンボール「えんたくん」を膝にのせて、ワーク・エンゲージメントを高めるための個人でできる工夫を各グループで話し合い、3ラウンドに分けて参加者が移動してミーティング

### アジア女性研究第29号を発行

ジェンダーや男女共同参画をテーマにした、客員研究員による調査研究の冊子です。

- ①日本と台湾の比較調査による地方議会の女性議員の増加
- ②福岡県と鹿児島県でのインターネットによる女性のキャリア形成促進
- ③日本とシンガポールのDV被害を受けた母子への支援制度の比較、を内容としています。



### 令和2年北九州市表彰 男女共同参画功労 受賞者をご紹介します

令和2年2月10日に開催された北九州市表彰式では、「男女共同参画功労」部門において8名の方が受賞されました。

#### 男女共同参画功労 受賞者(敬称略)

- 久留 美千江 門司区女性団体連絡会議副会長
- 西川 里子 元小倉北区女性団体連絡会議副会長
- 山崎 乃武子 小倉南区女性団体連絡会議副会長
- 大石 紀代子 元若松区女性団体連絡会議会長
- 大河内 哲子 八幡東区女性団体連絡会議会長
- 久保山 悅子 元八幡西区女性団体連絡会議副会長
- 立石 由美子 戸畠区女性団体連絡会議副会長
- 松村 佐和子 元北九州市女性団体連絡会議会長

#### お問い合わせ

北九州市総務局男女共同参画推進課 TEL:093-582-2405

#### お問い合わせ

(公財)アジア女性交流・研究フォーラム TEL:093-583-3434

# 中高年のあるあなたに ～必要とされているあなたの力～

## ●「2007年問題」は終わっていない

「2007年問題」を覚えておられるだろうか。戦後のベビーブーム期に生まれた団塊世代が60歳になり、彼らの大量退職が社会にさまざまな問題をもたらすことが心配された。主として、一度に多くの労働力や経験豊かな技術者が減少することによる企業・生産活動の停滞や貯蓄率の低下、その結果としての経済への悪影響が懸念されたが、結果的には、再雇用制度による継続雇用等(年金受給年齢の段階的引き上げも影響)により、当初予想されたような衝撃的な落ち込みはなかつた。とはいえ、退職の影響は緩やかになつただけであろう。

社会教育の分野では当時、別の側面から「2007年問題」を心配していた。それは、「大量の団塊世代が地域(家庭)に帰つてくることによって起こる問題である。ここで言う団塊世代の主流は、長年企業等で働いてきた男性である。これまで仕事中心で過ごしてきた大勢の男たちが毎日を家庭や地域で過ごすことになるが、大丈夫か」という心配であった。社会教育・生涯学習の講座など地域の学習・活動の参加者の多くは女性である。(この傾向は今も変わらない)退職した男性を迎える備えはできているのか、彼らのニーズに対応できる学習・活動の機会を十分に提供できるのか、という課題に直面したのである。

## ●「主人在宅ストレス症候群」の警告

他方、「主人在宅ストレス症候群」(黒川順夫、1993年)に象徴されるような事象が問題として認識されるようになつてゐた。これは、夫が常に家に居ることで、一緒にいる妻の心身に不調があらわれるものである。「夫源病」(石藏文信、2011年)としても報告されている。更年期障害と似た症状であるため初めは気づかれなかつたが、同じ症状を訴える女性たちの共通項が分かつてき。それは、夫が定年退職後、特に趣味等もなくずっと家に居て妻の行動に干渉する、毎日夫の3食の用意をしなければならない等の状況が続いているということであった。ゆえに妻のストレスが増大し、心身症状に現れたということである。「亭主元気で留守がいい」はCMで流行つて1986年の新語・流行語大賞を受賞した。CMは笑いを含んで



九州女子大学人間科学部長・教授

おおしま  
大島 まなさん

プロフィール

九州大学大学院教育学研究科博士課程修了後、九州大学教育学部助手、九州女子短期大学准教授等を経て、現職。中央教育審議会特別部会委員、福岡県社会教育委員、北九州市男女共同参画審議会会長などを務める。

いるが、現実に病的な症状が発現する当人にとっては笑いごとではないだろう。

地域活動や社会教育の関係者は、夫が「何もすることがなく家にいる」ことが問題の核心にあると考え、夫を外に誘いたず(熟年男性が興味関心を持ち、参加したくなる)あるいは夫婦で参加できる講座や地域活動を今も工夫しながら企画している。

## ●「人生100年時代」に向かって

近年、「人生100年時代」と言われる。「人生100年時代構想会議」がまとめた『人づくり革命 基本構想』(内閣府、2018年)では、年齢による画一的な考え方を見直し、「全世代の人々が希望に応じて意欲・能力を活かして活躍できるエイジフリー社会を目指す」としている。そのために、今後は高齢期における新たな職業的スキル習得のための教育訓練や、より長いスパンで人生を再設計しながら必要な学習を選択できる体制の整備を進めるとしている。しかしながら、すべての人が職業生活を延長できるわけではないし、体制や環境の整備には多少の時間を要するであろう。新たな生き方はそう簡単に見つけられるものではない。それに、平均寿命が100歳に近づいていくとしても、健康寿命が伸びなければ長寿社会とは言えない。日本人の平均寿命は、男性81.25歳、女性87.32歳(厚生労働省、2018年)であるが、健康上の問題がない状態で日常生活が送れる期間を示す健康寿命は、平均寿命より女性は約12年、男性は約9年短いのが現状である。

人生100年となると、「余生を楽しむ」とばかり言つてはいられない。引退後の長い時間を、健康を維持しながらどう過ごすのか、どう支えるのかは男女ともに大変な課題である。また、夫婦が家庭で共に過ごす時間もそれだけ長くなる。それぞれが自立し、適度な距離感を保ちながら尊重し合える関係をどう築くかがますます問われることになろう。また、単身でも、夫や妻に先立たれても、より長い時間を生きていく覚悟と工夫が大切になってくる。

## ●高齢期の危機に備える

高齢期に特有の危機は、第1に、心身の衰えである。体力や身

体能力のピークと下降の緩急には個人差があるとしても、生き物である限り衰えから逃れることはできない。知的能力は学習などの刺激によって維持できる部分もあるが、総体的には衰えに抗えない。認知症も出てくる。身体機能が衰えてくると、精神的に自信をなくして消極的になるなどの影響がある。第2は、人間関係の先細りである。退職によって、仕事上の人間関係から離れる。子どもが自立すれば親元を巣立っていく。親や先輩は先に亡くなる。友人も徐々に先立っていく。夫や妻も通常どちらかが先に亡くなる。高齢期は、それまでの人間関係が少しづつ失われ、孤独な状況に陥りやすい。第3に、自己有用感とやりがいの喪失である。壮年期は複数の社会的役割を担つて忙しいが、高齢期にはそれらの役割から解放される。しかし、人は役割を果たすことによって世の中や他者の役に立ち、人から認められ、生きがいややりがいを感じることができる。役割がないということは、必要とされないということであり、やりがい(やる甲斐)を実感する機会がないということである。

上記の危機的課題を考えると、高齢者にとって、労働から離れたとしても、地域での活動は特別な価値がある。活動によって心身の機能を使う。外に出かけ、歩き、人と話し、考え、気を遣うという行動が、頭脳、心身によい刺激を与え続けることになる。また、活動を通して地域に友人や仲間ができる。さらに、地域課題に対処する学習やボランティア活動であれば、その過程で感謝の言葉をかけられることも多い。誰かの役に立っているという自己有用感ややりがいを実感することができる。しかしながら、退職後にいきなり地域と関わることは難しい。中年期から意識して備えたい。

## ●地域社会はあなたの力を必要としている

地域社会には課題が山積している。少子高齢化が進む中、活動の担い手も参加者も減少している地域が多い。子育てや家庭教育の支援、防犯・防災、環境、外国人労働者の増加に伴う共生の問題、高齢者の孤立など、課題は多岐にわたっている。行政がきめ細かにすべてに対処する余力はない。現在、地域の自助・共助、地域力がより重要になっている。地域社会はあなたの力を必要としている。これまでの人生経験、さまざまな知識や技術は豊かな地域資源である。活かさないのはもったいない。地域のためにぜひ活かしていただきたい。

北九州市「生涯学習に関する市民意識調査」(令和元年度)によると、学んだ成果を地域活動や社会貢献に活かしたいという意欲を持っている一般市民は70.9%だが、実際に活かして活動している人は21.8%であった。約5割の市民は、やりたい意思はあるが活動していないのである。この意思を活動につなげるためには、人と活動をつなげるマッチングの機会や入りやすい環境など受け入れ体制の整備、情報提供の工夫などが指摘されている。活動に誘つたり、お願いしたりと声をかけることも大切であろう。

世のため人のための活動は、最期は自分のため、家庭のためにも繋がる。たとえ健康上の問題を抱えていたとしても、障害があっても、できる時にできることを行ふ、というボランティア活動や地域活動もある。元気だから活動するというだけでなく、活動することによって心身の元気を維持できるという発想で、多様で柔軟な参加のあり方を模索したい。



## 冊子発行案内

# 『中高年のあるあなたに ～必要とされているあなたの力～』

## ■発行 令和2年3月

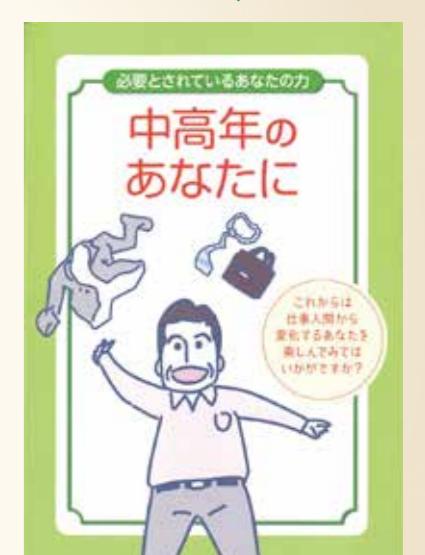
ムープでは、中高年層に向けて、「仕事人間から社会人間へと変化するあなたを楽しんでみてはいかがですか?」と呼びかける冊子を発行しました。

身近な家庭や地域に心を配ることにより自分の活躍の場が広がり、人生100年時代に向けて生きがいが持てるのではないかと提言しています。

お近くの市民センター等に置いています。ぜひ、お手にとってご覧ください。

ムープのホームページから冊子のデータをダウンロードすることができます。

お問い合わせ 情報課 TEL:093-583-5082



Pick up  
おすすめ講座

# 令和2年度 ムーブ実施事業 年間スケジュール

項目	令和2年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年 1月	2月	3月
ジェンダー問題講座	男女共同参画講座			●男女共同参画講座(講演会)【5/23】 <b>延期</b> 【9/19】→●				●男女共同参画講座(映画祭)【12/5】				
	おとこのライフセミナー						●おとこのライフセミナー【11/7】					
	キャリア形成プログラム		キャリア形成プログラム									
就業支援講座	語学講座(英会話)	中止 英会話1期【(昼)初級(夜)中級 4/8~7/8 全12回(毎週水曜日)】			英会話2期【(昼)中級(夜)初級 9/2~11/18 全12回(毎週水曜日)】			英会話3期【(昼)初級(夜)中級 1/6~3/24 全12回(毎週水曜日)】				
	キャリアアップ			●ムーブカフェ【6/20】	●働く女性のためのステップアップ講座 フォローアップ【8/15】 ●ムーブカフェ 働く女性のためのステップアップ講座【9/5、26、10/10 全3回(土曜日)】			●働く女性のためのステップアップ講座 フォローアップ				
	就業継続支援	中止 キャリアアップ&ビューティー講座【4/4、11、25 全3回(土曜日)】	中止 ストレスケアの処方箋【5/15、22、29 全3回(金曜日・夜)】		●自分らしさ発見講座【8/28】	●カラーメンタリング【10/3】		●夫婦会議				
生活技術講座	再就職支援		介護事務講座【6/2~7/21 全13回(火・木曜日)】		医療事務講座【9/4~11/17 全20回(火・金曜日)】							
	パソコン講座	中止 1期【4/1~】	2期【6/1~】	3期	4期	5期	6期					
	エプロン男子	男性向け 中止 初級編1期【4/25~6/13 全4回(土曜日)】		中級編1期【8/1~9/26 全4回(土曜日)】	初級編2期【10/31~12/19 全4回(土曜日)】	中級編2期【1/16~2/27 全4回(土曜日)】						
市民活動支援・連携事業	父と子の食育	男性向け		●父と子の料理→●延期【9/6】 [8/8]			●父と子の料理(X'mas)【12/12】	●父と子の料理(バレンタイン)【2/6】				
	介護男子	男性向け			●介護男子【全3回】			●介護男子フォローアップ講座				
	おとこの魅力アップシリーズ	男性向け	おとこの魅力アップシリーズ 年間5回(原則として土曜日) 中止 ●時短料理男子【6/27】		●コーヒー男子【9/13】 ●おもてなし男子【10/17】		●いまどきママ2期【11/10~12/1 全4回(火曜日)】					
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業	創作工房			●親子木工教室【8/8、9 午前・午後】								
	いまどきママ	中止 いまどきママ1期【4/7~4/28 全4回(火曜日)】										
	ムーブサポーター		●サポートー総会【6/4】 <b>延期</b> (日程未定)	サポートー活動								
相談事業	市民活動支援・連携	大学との連携事業				●ファミリークリスマスin北九州(共催)【12/12】						
	健康講座	中止 シェイプアップ・ヨガ【5/9~6/20 全6回(土曜日)】					ヨガ&エアロビクス【1/16~2/20 全6回(土曜日)】					
	リipro講座						●リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座					
ムーブフェスタ	一般・人権侵害・元気アップ・男性・法律相談	一般・人権侵害・元気アップ(週1回)・男性(月2回)・法律(月3回)相談		●人権侵害相談ホットライン【6/24】		●福岡県内男女共同参画センター共同DV防止キャンペーン						
	講座等			●女性のための法律基礎講座【6/13、27】	●男性のための法律基礎講座【9/19】	●女性への暴力ゼロ!ホットライン			●単発講座			
	パネル展示		「ワリかん!?~ワリとかんたん!?男と女のいい関係。~」【6/2~6/30】		「大切にしよう、自分のこと。」【11/1~11/30】							
図書・情報室	事業・講座	ジェンダー問題調査・研究支援事業募集		●おはなし会		●おはなし会						
	刊行物		●6/10『ムービング』91号		●10/1『ムービング』92号		2/28『ムービング』93号	ムーブ叢書	●ジェンダー問題調査・研究支援事業 報告書			
	個人利用 ■フィットネス ■OAルーム	中止 4月 中止 5月	フィットネス、OAルーム【通年】									

※5月26日現在の情報です。※日程等変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 初級から一步前進! エプロン男子 中級編

楽しく料理をしながら、あなたのレパートリーを増やしましょう。

■日 時 8月1日(土)、8月29日(土)、9月12日(土)、9月26日(土)  
午前の部/10:00~13:00  
午後の部/14:00~17:00

■定 員 各8名(抽選)  
■参加費 5,000円(4回分の材料費、エプロン代、保険代込)



大好評

## 就職・転職に役に立つ! 医療事務講座

就職に有利

医科2級医療事務技能検定の資格取得を目指します。

■日 時 9月4日(金)~11月17日(火)(週2回・全20回)

■定 員 24名(応募者多数の場合は選考)

■対 象 資格の取得を希望する女性  
※学生不可

■受講料 28,000円  
(テキスト代込)+



## パパも料理にチャレンジ!! 父と子の料理教室

お父さんと子どもで食の大切さと料理づくりを楽しみながら学びます。

■日 時 9月6日(日)10:00~13:30  
■定 員 8組(抽選)

■対 象 4歳から小学4年生までの子どもとお父さん(おじいちゃんも可)

■参加費 大人1,000円、子ども600円  
(材料費込)

